

## 紋高養通信

### 「秋のひとつき、音楽や朗読に親しみました」

11月1日に「芸術鑑賞会」を行いました。昨年に引き続き、今回も本校の教師や寄宿舎指導員がさまざまなジャンルの音楽やパフォーマンスを生で披露するという形式です。

当日の演目を紹介します。イタリア語の歌曲や、ピッコロ、サクソフォンの独奏で名曲が演奏されました。校長先生もベートーヴェンなどの歌曲を独唱しました。和楽器の演奏は、三味線の弾き語りです。伝統のある楽器ですが、ふだんは生の演奏に接する機会が少ないので、生徒たちは新鮮な感動を覚えたようです。

後半は、物語の朗読とピアノ演奏のコラボレーションで始まり、効果音を交えた朗読にみんなが聞き入りました。最後は、ヒット曲のバンド演奏です。生徒の何人かは、思

校長先生も熱唱。▶  
迫力あるベートーヴェンの歌曲に生徒たちも聞き入りました。



◀目にする機会の少ない和楽器（三味線）の演奏も楽しみました。

わず客席を立ててステージに歩み寄り、教師と一緒に歌ったり曲に合わせて全身でリズムを刻んだりして盛り上がりました。

生徒たちは、ふだん授業で見る教師の顔とは違った一面を知って喜んでくれました。こうしたふれあいを今後も大切にしていきたいと思っています。

## 紋別養護学校通信

### 中学部「社会体験学習」

本校中学部では、「総合的な学習の時間」の一貫として「社会体験学習」を、市内五カ所の事業所・施設・作業所にご協力をいただき、9月26日（月）から30日（金）の5日間行いました。

今年度は、昨年から引き続き「ツルハ紋別店」、「ひかり石油バイパス店」、「なかよし共同作業所」「安養園」「オホーツクとっかりセンター」に体験学習をお願いし、快く引き受けていただきました。前年度にも増して、それぞれの事業所等の皆様には、様々な体験メニュー（仕事）を用意していただき、職員の皆様やお客様と接する中でいろいろな経験をし、生徒も積極的に学習に取り組むことができました。

学校という、守られた環境から一歩外に足を踏み出



▲とっかりセンターでの体験学習

せば、そこには現実の「社会」があります。仕事や交流などを通し、日を追うごとに生徒の目の輝きが変わっていく姿が見られるなど、決して学校では得られない貴重な体験をすることができました。ご協力いただきました各事業所・施設・作業所の皆様、地域の皆様方に心よりお礼申し上げます。また、今後も生徒の社会参加に向けた取り組みへのご協力をお願いいたします。